

2020年5月21日

お客様各位

マルチクリーナー(弱酸性次亜塩素酸水)について

株式会社ショーヨー

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨今の新型コロナウイルス騒ぎで除菌に関心が高まり、アルコールが手に入りにくい今、次亜塩素酸水に注目が集まっています。

SNS やニュース等で様々な情報が飛び交っておりますが弊社のマルチクリーナーについて正確な情報をお伝えいたします。

すべての説明の前に、大前提として次亜塩素酸水の生成方法には大きく2種類あり、科学的に作られた塩や希塩酸と水などを電気分解して生成する「電解水」タイプと、次亜塩素酸ナトリウムと希塩酸などの薬液を水に希釈混合する「希釈混合」タイプがあることをご理解ください。

弊社のマルチクリーナーは希釈混合タイプの次亜塩素酸水です。

マルチクリーナーは安全を最優先に考えられた、非電解の弱酸性次亜塩素酸水です。

安全の証は **pH6.5 ±0.05** という厳しい領域の数値で安定生成し、**50ppm という低い塩素濃度**で**高い効果**を出していることです。

さらにこの効果と数値を**長期安定保存**できることが特徴です。

※「電解水」は「希釈混合」タイプの500倍の分解速度があり保存に不向きです。

これは電解せず希釈混合による反応を使う次亜塩素酸水生成器(特許技術製法)を使用した他が真似できない生成方法だから実現できた効果と安全性・安定性です。

マルチクリーナーは安全性を最優先に生成している為、乳幼児からご年配の方々まで希釈せずそのまま原液で手指や全身の除菌にお使いいただけます。

次頁より、よくあるご質問に対する回答集を纏めてございます。



Q: マルチクリーナー(次亜塩素酸水)と次亜塩素ナトリウム(漂白剤)の違いはなんですか？

A: 「次亜塩素酸水」と「次亜塩素ナトリウム」は違う化合物です。

次亜塩素酸ナトリウム(NaClO) = 漂白成分が主成分

次亜塩素酸水(HClO) = 除菌成分が主成分

大きく違う点は「次亜塩素ナトリウム」は発がん性のあるトリハロメタンが発生する可能性があるため危険です。

マルチクリーナーは、殺菌効果のある次亜塩素酸ナトリウムの欠点をなくし、利点のみを引き出した次亜塩素酸水です。「次亜塩素酸水」は「次亜塩素ナトリウム」より除菌スピード 80 倍、除菌効果 8 倍の能力があります。

Q: マルチクリーナー(次亜塩素酸水)に漂白成分はありますか？

A: マルチクリーナーは、殺菌効果のある次亜塩素酸ナトリウムの欠点をなくし、利点のみを引き出した次亜塩素酸水です。

欠点とは漂白成分であり、漂白作用はアルカリ性で起こる反応である為、弱酸性であるマルチクリーナーに漂白効果はありません。

Q: マルチクリーナーはどんな菌、ウイルスに効果がありますか？

A: マルチクリーナーは様々な菌やウイルスに対する除菌効果の検査を行い高い効果が実証されています。

対象	試験結果
インフルエンザウイルス	99.8%以上抑制
ノロウイルス (ネコカリシウイルス)	99.9%以上抑制
O-157 大腸菌	99.9%以上抑制
黄色ブドウ球菌	99.9%以上抑制
スギ花粉アレルゲン	99.5%以上抑制
ダニアレルゲン	99.4%以上抑制

アルコールでは除菌が難しい皮脂膜を持たないノロウイルス(ノンエンベローブウイルス)までもマルチクリーナーは除菌することができます。

Q: マルチクリーナーは新型コロナウイルスに効果がありますか？

A: 厚生労働省が新型コロナウイルスに対して有効であると発表したのはアルコールおよび次亜塩素酸ナトリウム(0.1%)です。

2020年4月15日に消毒効果があるものとして界面活性剤、次亜塩素酸水(電解水)、第4級アンモニウム塩が追加されました。

「電解水」「希釈混合」次亜塩素酸水はどちらも効果は同じなため弊社マルチクリーナーも新型コロナウイルスに効果があると推察できます。

※マルチクリーナーでの新型コロナウイルス試験検証は行っておりません。

Q: マルチクリーナーは長期保存で腐りますか？

A: 精製器製造元において長期保存試験を行いました。

<生成時>

塩素濃度: 50ppm pH 値: 6.5(±0.05)

条件: 生成したマルチクリーナーを直射日光の当たらない倉庫で7年間保存。

<結果>(7年後)

塩素濃度: 25ppm pH 値: 7.2

塩素濃度は半減、pHはアルカリ寄りに上昇。

<結論>

塩素濃度は除菌に有効なレベルで残存。

pHがアルカリ寄りになったということで、全く腐っていないことを確認。

(腐ると酸性になるため)

Q: マルチクリーナーの有効期限はどのくらいですか？

A: 製造日から1年間を保存期限の目安とし、開封後は半年を目安になるべく早くお使いください。

上記の長期保存試験の結果では7年間と長期間除菌に有効な塩素濃度が保持できていますが直射日光が当たる場所、開封し空気に触れるなど保存状態によって使用期限が大幅に変わってきます。

Q: マルチクリーナーをタンクからスプレーボトルに詰め替えた場合の有効期限は？

A: スプレーボトルに詰め替えた場合半年を目安になるべく早くお使いください。

タンクから専用ボトルに詰め替えた場合はタンクの有効期限にかかわらずなるべくお早めに使い切ることをお勧めいたします。(お客様のご使用環境や保管方法により有効塩素濃度の劣化速度が変わるので一律の有効期限を示すのが難しいためご了承ください)



Q: マルチクリーナーは金属を腐食させますか？

A: 水と同等程度の腐食性がありますので、金属が常にマルチクリーナーで濡れているような状況下では錆びなどの腐食が起こります。

Q: マルチクリーナーを超音波加湿器で噴霧すると金属が腐食しますか？(錆びますか？)

A: 塩素成分が入っているため腐食の可能性があるという話もありますが、当社においてパソコンや複合機など様々な機器類あるいは工具類の置いてある室内で適当量噴霧していますが、金属腐食は発生していません。

また、長期ご利用頂いているお客様からも金属の腐食の話はありません。

ただし、狭い室内などで多量に噴霧した場合、マルチクリーナー(水道水)に含まれるカルシウムや塩素成分がガラス等に付着してうっすらと白くなる場合があります。

機器類に影響を及ぼすものではありませんが、見た目の問題もありますので拭き掃除などでご対応ください。

Q: マルチクリーナーはどのぐらい安全ですか？

A: 次亜塩素酸を主成分としているマルチクリーナーは、菌・ウイルス・悪臭成分のみに即反応し、**人畜無害**です。

弱酸性で手荒れも起こりにくく、原液が体に付着しても化学火傷を起こすことはありません。

pH 値が 6.5 で安定しているため、塩素ガスや塩素水素が発生しません。

長期間、弱酸性を保持し、その後は徐々に弱アルカリ性に移行する特性があるため、他の塩素系剤と比べて金属の錆の発生は極めて小さくなります。

有機物と接触すると**普通の水に戻る**ため、そのまま排水処理ができ、環境負荷が小さいことも、**安心・安全に使える理由**です。

またマルチクリーナーの主成分である次亜塩素酸は、**人の体内で免疫機能を担う「好中球」でも生成**されます。

「好中球」は**5種類ある白血球のうちの1つ**で、体内での働きは主に、**侵入してきた細菌や真菌類の殺菌を行うことで感染を防ぐ**ことです。

人類は何億年もの間、この次亜塩素酸の安全性を体内の血中で証明してきました。

そして、**体内で細菌を駆除するのに活躍している次亜塩素酸を、体外でも便利に使用できるようにしたのが、マルチクリーナー**なのです。

Q: マルチクリーナーは厚生労働省の認可する食品添加物ですか？

A: マルチクリーナーは厚生労働省の認可する食品添加物としての次亜塩素酸水ではありません。

厚生労働省の認可する食品添加物としての次亜塩素酸水は、一定の設備基準を満たした設備で生成する「電解水」のことを言います。

なお、食品添加物として認可される次亜塩素酸水は「生成しながら使うこと」が条件となるため、厚生労働省に食品添加物として認可された次亜塩素酸水が商品として流通することはありません。(2020年5月現在)

※「生成しながら使うこと」とは使う場所で生成しながらその場で野菜を洗う、まな板を除菌するなどがあります。

背景に「電解水」は分解速度が早く2週間ほどしか除菌効果が持続しません。

Q: マルチクリーナーは食品添加物ではないので危険ですか？

A: 「食品添加物＝安全」というわけではなく、たとえば厚生労働省から食品添加物として認められている次亜塩素酸ナトリウム、いわゆるハイターなどはそのまま使っても安全かということになります。

弊社のマルチクリーナーは安全を最優先に塩素濃度や pH を設定しており、安全性に対する各種試験データもあります。

「次亜塩素酸水＝安全」ではなく塩素濃度や pH の記載がしっかりとされている、試験データをしっかりと提示できる次亜塩素酸水が安全と言えます。

他、ご不明な点等ございましたらお問い合わせくださいませ。

問合せ先: 0120-965-395 (受付時間: 平日 10:00～17:00)

敬具

